

第53回 バトントワーリング全国大会九州予選

第30回 全九州バトンフェスティバル

第13回 全九州フリースタイルコンテスト

# 基本実施要項 実施規定



日本バトン協会九州支部

# 大会概要

大会名称	第53回バトントワーリング全国大会九州予選 第30回全九州バトンフェスティバル 第13回全九州フリースタイルコンテスト
大会日時	2025年10月11日(土)17:00～ リハーサル(予定) 2025年10月12日(日)9:30 開場 10:00 開会式(予定) 第53回バトントワーリング全国大会九州予選 第30回全九州バトンフェスティバル 第13回全九州フリースタイルコンテスト ※日程及び時間は、出場団体数により変動する場合がある。 ※リハーサル不参加の団体は大会当日音源確認のみ行う。(フリースタイル含む)
開催会場	べっぷアリーナ(別府市総合体育館) 〒874-0902 大分県別府市青山町8番37号 TEL 0977-21-2323 FAX 0977-21-8090
主催	日本バトン協会 九州支部
主管	大分県バトン協会
後援 (予定)	大分県教育委員会 大分市教育委員会 大分合同新聞社 NHK大分放送局 OBS大分放送 TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送 J:COM大分ケーブルテレコム
主旨	【 学校部門 】 学校教育活動の中でバトンを使った集団演技を通し身体表現と音楽表現の美しさへの探求心を育むとともに、集団での活動を幅広く体験することで協調性や責任感、自主性や創造力を養いながら生きる力を培う。 【 一般部門 】 バトンを使った身体表現と音楽表現の集団演技を追求し、より正確で高度な集団技術とより高い集団芸術を身につけながら自主性と創造力を培うとともに芸術スポーツの発展と地域社会の活性化に貢献する。

# 各種申し込みについて

## 参加申し込み

参加者及び参加団体は、「大会申込書」に必要事項を入力し、加盟団体ごとにまとめて  
**2025年8月4日(月)【必着】**で下記大会事務局まで申し込むこと。

※基本実施要項・実施規定はホームページ掲載とともに、登録団体へメール送信致します。

## 【1】参加費

### ◆第53回バトントワーリング全国大会 九州予選

★団体参加費	1団体	¥13,000
★個人参加費(補欠2名を含む)	1名	¥1,000(プログラム代込)

### ◆第30回全九州バトンフェスティバル

★団体参加費	1団体	¥10,000
★個人参加費(登録人数分)	1名	¥1,000(プログラム代込)

### ◆第13回全九州フリースタイルコンテスト

★フリースタイル個人	1名	¥8,000
★フリースタイルペア	1組	¥10,000
★フリースタイルチーム	1チーム	¥15,000
★初級・中級フリースタイルチーム	1チーム	¥10,000

注)日本音楽著作権協会に支払う録音利用料、演奏利用料は各団体にて負担とする。

(大会終了後、事務局より請求金額をお知らせ致します。)

## 【2】入場券

10月12日(日)

自由席 ¥3,000 (3歳以上小学生以下 ¥1,000)

当日券 自由席 ¥3,500 (3歳以上小学生以下 ¥1,000)

\*参加者にはプログラムを配布する。(無料)

## 【3】写真及びビデオ撮影について

- \*会場内での写真撮影及びビデオ撮影は禁止する。
- \*館内の電源使用は不可。
- \*大会演技のビデオ撮影は九州支部指定の業者が行い、後日DVD販売する。
- \*写真及びビデオ撮影についての「回答書」は申込時に必ず提出すること。

#### 【4】広告協賛

大会の主旨にご理解ご賛同を賜り、1口 ¥5,000(名称のみ掲載)のプログラム広告協賛をお願い致します。

#### 【5】大会申込方法

- ① ホームページより申込データをダウンロードし必要事項を入力し**大会専用メール**にて申し込むこと。
- ② 下記の提出物は**大会専用メール**に送信すること。  
演奏利用明細書・録音利用明細書・**音楽著作権使用許諾確認書**・音源使用許諾書  
※推薦状は県大会終了後 1週間以内に大会事務局に提出すること。
- ③ 参加諸費用については、下記郵便局口座へ振り込むこと。
- ④ すべての申込み、振込みは **2025年8月4日(月)(必着厳守)**とする。

##### ■送信先■

大会事務局 日本バトン協会 九州支部  
〒880-0841 宮崎県宮崎市吉村町浮之城甲 94-1 AURYN203  
海野 めぐみ 宛  
【TEL】 090-3329-4296  
【大会専用メール】 [batonkyushu.entry21@gmail.com](mailto:batonkyushu.entry21@gmail.com)

##### ■参加諸経費 郵便局振込口座■

記号:17170 番号:3821961  
名前:日本バトン協会九州支部

※最終的な「大会スケジュール」及び「注意事項」等については、大会2週間前までに九州支部HPに掲載とともに出場団体へメール送信(予定)致しますのでご確認下さい。

## ■種 目

- ◆ 第 53 回 バトントワーリング全国大会九州予選
  - ★ 学校部門《小学校・中学校・高等学校・大学》
  - ★ 一般部門《U-12・U-15・U-18・OPEN》
  
- ◆ 第 30 回 全九州バトンフェスティバル
  - ★ フェスティバル部門
  
- ◆ 第 13 回 全九州フリースタイルコンテスト
  - ★ フリースタイル個人《ジュニア・シニア》
  - ★ フリースタイルペア《ジュニア・シニア》
  - ★ フリースタイルチーム

## ■出場資格

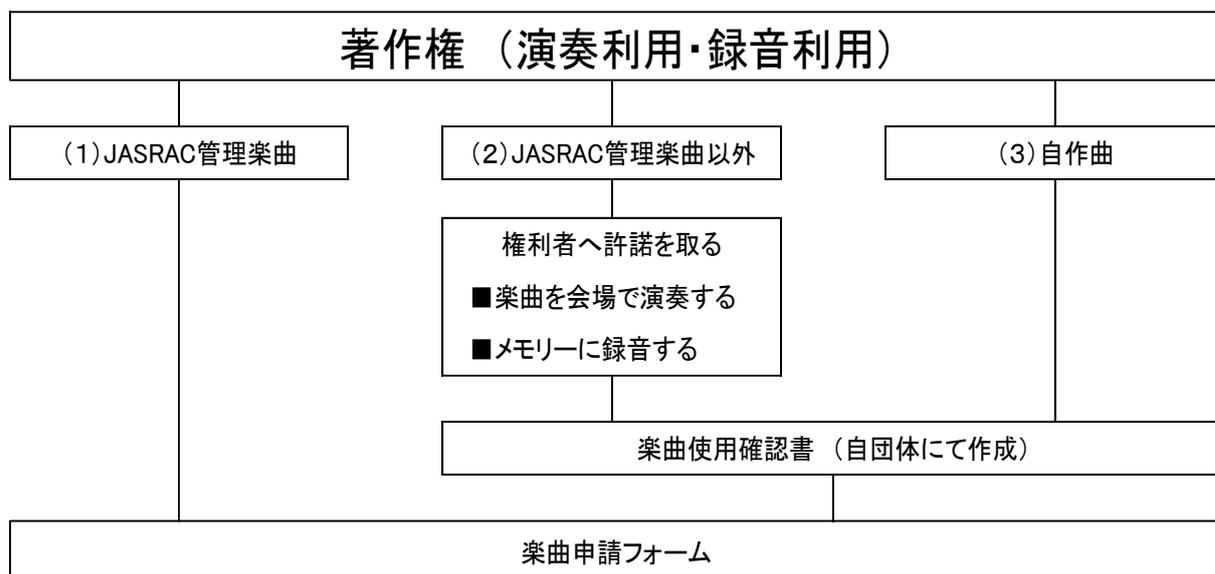
- (1) ①参加者は大会申し込み時までに、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟登録、構成員登録を終了していること。(登録申請中は認めない)
  - ②大会出場ごとに出場メンバー表又は、構成メンバー表を提出すること。
  - ③構成員登録は原則 1 団体とする。但し、学校区分と一般区分の2つの団体に構成員登録をすることが出来る。(構成員登録をしていない団体からの出場は認めない。)
  
- (2) 2025 年 8 月 4 日(月)【期日厳守】までに所定の手続きを終えていること。
  
- (3) 大会参加に要する経費は参加団体・参加者の負担とする。
  
- (4) 納入された大会参加費は返却しない。
  
- (5) ①団体及び構成員登録者の全国大会九州予選への参加は 1 回とする。但し学校区分と一般区分両方に構成員登録をしている者は、各 1 回ずつ参加出来る。  
(全九州バトンフェスティバル・全九州フリースタイルコンテストとの重複参加は可。)
  - ②九州独自の大会である、全九州バトンフェスティバル・全九州フリースタイルコンテストに関しては、重複参加出来る。
  - ③全国大会九州予選以外の大会については、1 団体より1大会に複数参加出来る。
  
- (6) 全国大会九州予選に出場する団体は県の推薦を受けること。(別紙の推薦状を提出すること)
  
- (7) ①大会に使用する演技曲は、使用する音源の出版元へ団体ごとに使用許諾の申請を必ず行う。
  - ②CD等に録音する際、発生する「録音利用の申請」や大会当日に使用する曲に発生する「演奏利用の申請」は大会事務局が一括して行う。
  - ③「録音利用」「演奏利用」に対して著作権協会からの請求金額は団体の自己負担とする。  
※大会に使用した演技曲について、出版元とのトラブルが生じた場合、団体の責任の下に処理すること。
  
- (8) 全ての大会種目に対し、バトンのポール・ティップのチェックを行う。ポール・ティップは新品を使用すること。シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。

## 全大会における肖像権について

大会参加者は肖像権を日本バトン協会九州支部へ譲渡するものとする。  
大会当日に、写真及びビデオ撮影についての「回答書」を提出すること。  
「回答書」の提出がない場合は承諾したものとする。

## 全大会における著作権について（重要）

JASRAC(日本音楽著作権協会)の管理の有無に応じて、以下の提出を行ってください。



### (1) JASRAC 管理の楽曲【市販楽曲】

当協会では演奏利用の申請を行います。録音利用は支部大会と異なる楽曲を使用する場合のみ、当協会に申請いたします。

■ 提出物: **楽曲申請フォーム**（九州支部では、従来通り演奏利用明細書・録音利用明細書を提出してください）

### (2) JASRAC 管理ではない楽曲【市販楽曲・著作権フリー曲・自作アレンジ曲】

自団体で、権利者に楽曲を会場で演奏する許諾および、会場での演奏のためにメモリーへ録音する許諾を得る必要があります。

■ 提出物: **楽曲使用確認書** ※責任者名で作成してください

（JASRAC 管理楽曲ではないことを明記の上、楽曲使用確認書を責任者名で作成し九州支部に提出してください）

**楽曲申請フォーム**（九州支部では、従来通り演奏利用明細書・録音利用明細書を提出してください）

### (3) 自作曲(オリジナル)

自団体が全ての権利を有している楽曲（既存の楽曲を編曲した場合は該当しません）

■ 提出物: **楽曲使用確認書** ※責任者名で作成してください

（JASRAC 管理楽曲ではないことを明記の上、楽曲使用確認書を責任者名で作成し九州支部に提出してください）

**楽曲申請フォーム**（九州支部では、従来通り演奏利用明細書・録音利用明細書を提出してください）

## 全大会における著作隣接権について

RIAJ(日本レコード協会)の管理の有無に応じて、以下の提出を行ってください。



### (1) RIAJ 管理楽曲【市販楽曲】

■提出物: RIAJ 発行の音源使用許諾書

(九州支部では、音楽著作権使用許諾確認書も必要です。)

### (2) RIAJ 管理ではない楽曲【市販楽曲・著作権フリー曲・自作アレンジ曲】

■提出物: 自団体発行の音源使用確認書(九州支部では、音源著作権使用許諾確認書を提出してください。)

※版元の音源使用許諾書がある場合は提出してください。

※版元から音源使用許諾書が発行されなかった場合は、確認書(版元より許諾書発行が無かった場合に記入)にも記入すること。

### (3) 自作曲(オリジナル)

自団体が全ての権利を有している楽曲 (既存の楽曲を編曲した場合は該当しません)

■提出物: 自団体発行の音源使用確認書(九州支部では、音源著作権使用許諾確認書を提出してください。)

## 災害・感染症等の緊急対応について

災害や感染症などの緊急事態状況下の大会開催は、日本バトン協会九州支部が総合的に判断し、延期または中止とする場合がある。尚、参加団体、観客、大会関係者の安全性と支援を意図することを目的とし、実施要項を一部変更することもある。

## 第53回バトントワーリング全国大会 支部別出場枠

支部別参加枠				
	学校部門		一般部門	
	固定枠	自由枠	固定枠	自由枠
北海道	0	1	4	1
東北	4	3	4	4
関東	4	15	4	8
北陸	4	3	4	3
東海	4	10	4	5
関西	4	13	4	10
中国	4	1	4	1
四国	0	1	4	0
九州	4	4	4	7
沖縄	0	1	4	1
<b>合計</b>	<b>80</b>		<b>80</b>	

### 参加枠

- 1、参加枠は構成別に固定枠、自由枠、追加希望枠を合わせた合計とする。
  - (1) 固定枠は前年度に**支部大会へ出場した部門**に対して、**各構成に1枠ずつ(計4枠)**割り当てる。  
※固定枠は他の構成に振り替えることはできない。
  - (2) 自由枠は前年度の支部大会出場数に応じて割り当てる。  
※構成別に支部組織が振り分けて決定する。
  - (3) 追加希望枠は支部組織より申請を行い実行委員会にて受け入れの可否を決定し割り当てる。
- 2、幼保団体は支部大会に参加し、支部より推薦された団体を実行委員会にて参加を決定する。
- 3、上記参加枠の他に一般社団法人日本バトン協会が必要と認めた場合は特例として参加を許可する。

### 参加枠における支部組織からの申請

第1次使用枠数申請 締切 : 2025年10月6日13時 内容: 構成別使用枠・追加希望枠

第2次使用枠数申請 締切 : 2025年11月4日13時 内容: 部門内移動枠(1枠のみ)

追加希望枠は、参加枠が今年度の支部大会出場数に対して以下表に記載の割合を超えない範囲内で申請できる。

### 追加希望枠数上限の算出方法

- ① 今年度の支部大会出場数 × 割合 = **参加枠数上限(小数点以下切り捨て)**
- ② 参加枠数上限 - 固定数 - 自由枠 = **追加希望枠数上限**

部門	学校部門				一般部門			
	小学校	中学校	高等学校	大学	U-12	U-15	U-18	OPEN
割合	100%	<b>70%</b>	<b>45%</b>	100%	50%	50%	50%	50%

※小数点以下切り捨て

# 第53回バトントワーリング全国大会 九州予選 実施規定

## 【学校部門】

### 1. 出場資格

- (1)大会申し込み時まで、一般社団法人日本バトン協会の小学校・中学校・高等学校・大学の  
学校区分に団体加盟登録していること。会員組織規程に準じる。
- ①大会には団体加盟登録している団体名、構成員登録名で出場すること。
  - ②出場メンバー(補欠2名を含む)は当該学校団体の在籍学生で、大会申し込み時まで  
当該学校団体に構成員登録していること。
    - (ア) 出場メンバーとは、当日演技フロアに入場し演技する者であること。
    - (イ) 出場メンバー数は、申請した人数内であること。
    - (ウ) 登録補欠メンバーとして2名までおくことができる。
    - (エ) 出場メンバーの変更は登録補欠メンバーであること。
- (2)九州支部より推薦された場合、**2025年12月6日(土)**全国大会に出場可能な団体。
- ①構成は、支部推薦と同一であること。
- (3)1団体及び構成員登録者の九州予選【学校部門】の出場は1回とする。
- \* ゲスト及びセレモニー等の参加はこの限りではない。

### 2. 参加申込み

- (1)提出物(メールにて提出)
- ①参加申込データの提出
  - ②出場メンバーの提出
  - ③音楽著作権に関する情報の提出
    - (ア) **音楽著作権使用許諾確認書・音源使用許諾書**
    - (イ)演奏利用明細書
    - (ウ)録音利用明細書
- (2)大会参加費
- ①団体参加費・個人参加費(補欠2名を含む)を納入すること。
    - \* 大会参加に要する経費は参加団体の負担とする。
    - \* 納入された大会参加費は返却しない。
- (3)引率者について
- 出場団体(チーム)の引率者は2名とし引率者リボンを配布する。
- (4)申込期限
- ①参加資格に関わる提出の期限は**2025年8月4日(月)**とする。

### 3. 構成

- (1)人数は4名以上とする。
- (2)構成は以下の通りとする。

#### 小学校

- (ア)単一団体加盟登録の小学校構成
- (イ)複数の団体加盟登録による合同小学校構成

#### 中学校

- (ア)単一団体加盟登録の中学校構成
- (イ)複数の団体加盟登録による合同中学校構成

#### 高等学校

- (ア)単一団体加盟登録の高等学校構成
- (イ)同一学校法人による中等高等学校の団体加盟登録の学校構成
- (ウ)複数の団体加盟登録による合同高等学校構成

#### 大 学

- (ア)単一団体加盟登録による大学構成
- (イ)複数の団体加盟登録による合同大学構成

### 4. 演技

#### (1)演技

- ①衣装、使用曲等の演技に関わるすべてにおいて国歌、国歌を編曲された楽曲及び国旗の使用は不可とする。
- ②(ア)1人1本のレギュラーボタンを使用すること。但し、演技において複数本の使用は可とする。  
(イ)器物・特殊効果の使用は不可とする。

#### 【補 足】

「器 物」 バトン・コスチューム類のどれにも属さず、作品の演出効果の為に用いるものを総称したもの。 \* 器物の使用は不可とする。

「特殊効果」 乾電池を使用しフラッシュ・ストロボ・各種ライト類(ケミカル類含)等の光の効果を  
用いた全てのもの。 \* 特殊効果の使用は不可とする

## (2) 使用曲

- ①使用曲は自由とする。
  - ②使用曲の長さは以下の通りとする。
    - (ア) 

小学校	中学校
-----	-----

 3分00秒以内 (過分5秒可)
    - (イ) 

高等学校	大 学
------	-----

 3分30秒以内 (過分5秒可)
- \* 再生機器にて表示される分数(無音部分を含んだ時間)

## (3) 演技フロア

- ①演技フロアは縦20m×横25mとする。
- ②演技フロアの入場は出場メンバーのみとする。
  - (ア) 出場メンバー数に則した登録引率者と補欠は実行委員会が指定した導線を使用すること。指定された席で静粛に待機し、声援、指示等は不可とする。

## (4) 入退場

- ①演技フロアへの入退場は指定された入場口より入場し、退場口より退場すること。
  - (ア) 係員の合図に従い、速やかに入場すること。
  - (イ) 入場口の再入場・追加入場は禁止する。
    - \* 正面演技ラインより前方側の使用は原則として禁止する。

## (5) 計 時

- ①演技フロアへの入場から退場までを演技時間とする。
  - (ア) 

小学校	中学校
-----	-----

 4分00秒以内
  - (イ) 

高等学校	大 学
------	-----

 4分30秒以内(入場の合図をした時点からすべての出場メンバーが退場口を通過した時点までとする。)
- ②審査時間の計時は、使用曲の第1音から最終音までとする。

使用曲の長さを事前に提出すること。

  - \* 登録引率者が使用曲開始の合図を音響にすること。

## 5. 罰 則

### (1) 参加不可

- ①『1. 出場資格』規定に反した場合は、参加資格を失うこともある。
  - ★上記に該当した団体は、理事会より大会への参加不可を通知する。
  - ★大会時に『1.出場資格(3)』規定に反した団体の成績判定・表彰は授与されないものとする。

### (2) 違反

- ①『3. 構成』規定に反した場合。
- ②『4. 演技(1)』規定に反した場合。
- ③非社会的な行為、大会主旨に反する行為があった場合。
  - ★成績判定・表彰は授与されないものとする。

### (3) 警告

- ①『2. 参加申し込み(2) (4)』規定に反した場合。
- ②『4. 演技(2) (3) (4) (5)』規定に反した場合。
- ③理事会の指示に従わなかった場合。

★上記に該当した団体は警告書を通ずる。

### (4) 注意

- ①『2. 参加申込み(1) (3)』規定に反した場合。
- ②他の参加団体に迷惑となる行為のあった場合。
- ③演技中に危険な行為のあった場合。

★上記に該当した団体は注意書を通ずる。

★上記 (1) から (4) の内容により、次大会の参加資格を失うこともある。

## 6. その他

- (1) 演技順は、理事会にて抽選の上決定する。
- (2) 音源はCDに録音し、当日音響席へ持参すること。CDにはエントリーナンバー・団体名を記入しておくこと。CDは音源使用許諾を受けたものを使用すること。
- (3) 大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。  
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- (4) 本規定の主旨を変更することなく、理事会において加除訂正を行うことができる。

# 第53回バトントワーリング全国大会 九州予選 実施規定

## 【一般部門】

### 1. 出場資格

- (1)大会申し込み時まで、一般社団法人日本バトン協会の一般区分として団体加盟登録していること。  
会員組織規程に準ずる。
- ①大会には団体加盟登録している団体名、構成員登録名で出場すること。
  - ②出場メンバー(補欠2名を含む)は、大会申込時まで当該一般団体に構成員登録していること。
    - (ア) 出場メンバーとは、当日演技フロアに入場し演技する者であること。
    - (イ) 出場メンバー数は、申請した人数内であること。
    - (ウ) 登録補欠メンバーとして2名までおくことができる。
    - (エ) 出場メンバーの変更は登録補欠メンバーであること。
- (2)九州支部より推薦された場合、**2025年12月7日(日)**全国大会に出場可能な団体。
- ①構成は、支部推薦と同一であること。
- (3)1団体及び構成員登録者の九州予選【一般部門】の出場は1回とする。
- \* ゲスト及びセレモニー等の参加はこの限りではない。

### 2. 参加申込み

- (1)提出物(メールにて提出)
- ①参加申込データの提出
  - ②出場メンバーの提出
  - ③音楽著作権に関する情報の提出
    - (ア) **音楽著作権使用許諾確認書・音源使用許諾書**
    - (イ)演奏利用明細書
    - (ウ)録音利用明細書
- (2)大会参加費
- ①団体参加費・個人参加費(補欠2名を含む)を納入すること。
    - \* 大会参加に要する経費は参加団体の負担とする。
    - \* 納入された大会参加費は返却しない。
- (3)引率者について
- 出場団体(チーム)の引率者は2名とし引率者リボンを配布する。
- (4)申込期限
- ①参加資格に関わる提出の期限は**2025年8月4日(月)**とする。

### 3. 構成

- (1)人数は4名以上とする。
- (2)構成は以下の通りとする。

#### U-12

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上12才以下のみの出場メンバーによる団体  
\* 2026年4月1日までに繰り上がる年齢

#### U-15

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上15才以下のみの出場メンバーによる団体  
\* 2026年4月1日までに繰り上がる年齢

#### U-18

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上18才以下のみの出場メンバーによる団体  
\* 2026年4月1日までに繰り上がる年齢

#### OPEN

- (ア) 年齢区分の無い単一加盟登録の団体で7才以上の出場メンバーによる団体  
\* 2026年4月1日までに繰り上がる年齢

### 4. 演技

#### (1)演技

- ①衣装、使用曲等の演技に関わるすべてにおいて国歌、国歌を編曲された楽曲及び国旗の使用は不可とする。
- ②(ア)1人1本のレギュラーバトンを使用すること。但し、演技において複数本の使用は可とする。  
(イ)器物・特殊効果の使用は不可とする。

#### 【補 足】

「器 物」 バトン・コスチューム類のどれにも属さず、作品の演出効果の為に用いるものを総称したもの。 \* 器物の使用は不可とする。

「特殊効果」 乾電池を使用しフラッシュ・ストロボ・各種ライト類(ケミカル類含)等の光の効果を  
用いた全てのもの。 \* 特殊効果の使用は不可とする。

#### (2)使用曲

- ①使用曲は自由とする。
- ②使用曲の長さは、以下の通りとする。  
(ア) **U-12** **U-15** 3分00秒以内(過分5秒可)  
(イ) **U-18** **OPEN** 3分30秒以内(過分5秒可)

\* 再生機器にて表示される分数(無音部分を含んだ時間)

### (3) 演技フロア

- ①演技フロアは縦20m×横25mとする。
- ②演技フロアの入場は出場メンバーのみとする。
  - (ア)出場メンバー数に則した登録引率者と補欠は実行委員会が指定した導線を使用すること。  
指定された席で静粛に待機し、声援、指示等は不可とする。

### (4) 入退場

- ①演技フロアへの入退場は指定された入場口より入場し、退場口より退場すること。
  - (ア)係員の合図に従い、速やかに入場すること。
  - (イ)入場口の再入場・追加入場は禁止する。
    - \* 正面演技ラインより前方側の使用は原則として禁止する。

### (5) 計時

演技フロアへの入場から退場までを演技時間とする。

- (ア) U-12 U-15 4分00秒以内
- (イ) U-18 OPEN 4分30秒以内

(入場の合図をした時点からすべての出場メンバーが退場口を通過した時点までとする。)

- ②審査時間の計時は、使用曲の第1音から最終音までとする。
  - \* 使用曲の長さを事前に提出すること。
  - \* 登録引率者が使用曲開始の合図を音響にすること。

## 5. 罰 則

### (1) 参加不可

- ①『1. 出場資格』規定に反した場合は、参加資格を失うこともある。
  - ★上記に該当した団体は、理事会より大会への参加不可を通知する。
  - ★大会時に『1. 出場資格(3)』規定に反した団体の成績判定・表彰は授与されないものとする。

### (2) 違反

- ①『3. 構成』規定に反した場合。
- ②『4. 演技(1)』規定に反した場合。
- ③非社会的な行為、大会主旨に反する行為があった場合。
  - ★成績判定・表彰は授与されないものとする。

### (3) 警告

- ①『2. 参加申し込み(2)(4)』規定に反した場合。
- ②『4. 演技(2)(3)(4)(5)』規定に反した場合。
- ③理事会の指示に従わなかった場合。
  - ★上記に該当した団体は警告書を通知する。

#### (4)注意

- ①『2. 参加申込み(1) (3)』規定に反した場合。
  - ②他の参加団体に迷惑となる行為のあった場合。
  - ③演技中に危険な行為のあった場合。
- ★上記に該当した団体は注意書を通知する。

★上記 (1) から (4) の内容により、次大会の参加資格を失うこともある。

#### 6. その他

- (1)演技順は、理事会にて抽選の上決定する。
- (2)音源はCDに録音し、当日音響席へ持参すること。CDにはエントリーナンバー・団体名を記入しておくこと。CDは音源使用許諾を受けたものを使用すること。
- (3)大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。  
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- (4)本規定の主旨を変更することなく、理事会において加除訂正を行うことができる

# 第30回全九州バトンフェスティバル 実施規定

【主旨】バトントワーリングの普及・発展のために、初心者から全国大会を目指すチームまで、幅広いチームが出場できる場を設けることを目的として開催する。

## (1)構成

- ①構成メンバーの年齢は自由とする。
- ②人数・・・4名以上  
※構成メンバー数の変更は登録人数内であれば可。但し棄権者届けを提出すること。

## (2)演技フロア・入退場

- ①演技フロア
  - ア)演技フロアは縦20m×横25mを目安とする。
  - イ)演技フロアの入場は構成メンバーのみとする。
- ②入退場
  - ア)演技フロアへの入退場は指定された入場口より入場し、退場口より退場すること。
  - イ)係員の合図に従い、速やかに入場すること。
  - ウ)入場口の再入場・追加入場は禁止する。
  - エ)退場口より退場後は、速やかに退出すること。
    - \*正面演技ラインより前方側の使用は原則として禁止する。
    - 但し、会場により前方側を退場ラインにする場合がある。

## (3)使用曲

- ①使用曲は自由とする。但し、国歌及び国歌を編曲された楽曲の使用は不可とする。
- ②使用曲の長さ・・・3分30秒以内(過分5秒可)

## (4)計時

- ①入場から退場までは4分30秒以内とする。
- ②引率者1名は音響席にてスタート・ストップの合図を行うこと。

## (5)手具・器物・コスチューム

- ①手具は自由とするが、必ず使用すること。
  - ※手具とは、演技者個人が容易に携帯でき、自らが用いて演技するもの。
- ②器物の使用は可とする。
- ③武器及び宗教的なイメージを与える物・コスチューム等は禁止とする。
  - 国旗の使用は不可とする。

## (6)審査・審判

- ①審査員3名以上  
審査員は100点法により採点し全審査員の平均点(小数点第1位まで)とする。
  - \*全体的効果
  - \*作品完成度
  - \*パフォーマンス(コンビネーション・ステージング・ボディワーク)を考慮し総合的に審査する。

②審判員2名。

- \* 構成に関する審判
  - \* フロアの使い方及び入退場に関する審判
  - \* 計時及び時間に関する審判
  - \* 演技曲の作動及び停止に関する審判
- ※審判に関する内容は、コメントで注意する。

## (7)評価・表彰

- |               |     |
|---------------|-----|
| * 80点以上       | ⇒金賞 |
| * 65点以上～80点未満 | ⇒銀賞 |
| * 65点未満       | ⇒銅賞 |

※参加団体に各賞の賞状を授与する。

※金賞受賞団体に副賞を授与する。

※手具が1度も落下しなかった団体にノードロップ賞を授与する。

(ポンポンのみの編成は該当しない)

## (8)その他

※大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。

シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。

※演奏利用明細書・録音利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書・音源使用許諾書の提出

※演技順については、理事会にて抽選の上決定する。

※音源はCDに録音し、当日音響席へ持参すること。CDにはエントリーナンバー・団体名を記入しておくこと。CDは音源使用許諾を受けたものを使用すること。

【主旨】フリースタイルの普及を目的として、九州独自に設けたコンテストである。

チームの初級・中級レベルも参加できる。

### (1) 参加登録に関する規定

- ①参加者は、大会申し込み時に、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟登録、構成員登録を完了していること。(申請中は認めない)
- ②ペア及びチームのメンバーは、同一支部2団体までの複合を認める。  
尚、どちらかの団体から申し込むかは任意とする。
- ③参加に要する経費は、各参加者の負担とする。

### (2) 部門・年齢・性別及び、人数に関する規定

- ①年齢及び性別は下記の通りとし、2026年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。  
注)大会申込時に小学生以上であること。
  - A)個人種目
    - ア)女子ジュニア部門・・・小学生以上～17歳 イ)女子シニア部門・・・18歳以上
    - ウ)男子ジュニア部門・・・小学生以上～17歳 エ)男子シニア部門・・・18歳以上
  - B)ペア種目
    - ア)ジュニア部門・・・小学生以上～17歳 イ)シニア部門・・・18歳以上
 ※性別区分無し。2人の内、年齢の上の人の部門とする。  
(ペア種目は1名の補欠を用意することが出来る。混合ペアのみ、男子1名・女子1名の補欠を用意することが出来る。但し、交代は1名までとする。)
  - C)チーム種目・・・小学生以上・性別区分無し
    - \*フリースタイルチーム種目は6名以上8名以内とする。
    - \*初級・中級のフリースタイルチームは4名以上とする。
    - \*部門はジュニア・シニアに区別せず自由とする。

### (3) 演技に関する規定<自由演技(フリースタイル)全種目>

- ①演技に使用するバトン・・・レギュラーバトン1人1本
- ②演技スペース
  - ・・・個人種目 縦15m×横25m
  - ペア及びチーム種目 縦15m×横28mの広さを目安とする。
- ③演技曲・・・使用曲は自由とする。但し、国歌、国歌を編曲された楽曲の使用は不可とする。

### (4) 音楽に関する規定<自由演技(フリースタイル)全種目>

- ①フリースタイルの音楽は各参加者が選択し、CDに録音し、当日音響席へ持参すること。  
CDには、エントリーナンバー・種目・部門及び参加者名を記入しておくこと。CDは音源使用許諾を受けたものを使用すること。
- ②参加者は大会会場にて、大会事務局が指定した時間に、サウンドチェックを行う事が出来る。
- ③曲の長さは次の通りとする。
  - ア)個人及びペア種目のジュニア部門は、1分30秒以上2分以内(過不足10秒可)とする。  
個人及びペア種目のシニア部門は、2分以上2分30秒以内(過不足10秒可)とする。
  - イ)チーム種目は、3分30秒以内(過分10秒可)とする。
  - ウ)曲の長さ(計時)は、音楽の第一音より、最終音までとする。
  - エ)音楽の第一音以前に演技開始のための合図音(1秒以内)を入れても良いが、計時には含めない。
- ④演奏利用明細書・録音利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書・音源使用許諾書の提出

## (5) 入退場に関する規定＜自由演技(フリースタイル)全種目＞

①入退場については、次の通りとする。

- ア) 演技者は、名前をアナウンスされてから指定した入場口より入場し、ポジション取りを行い演技を始めなければならない。
- イ) 音源CDのスタート(演技開始)とストップ(演技終了)の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は引率者が音響席にて行うこと。
- ウ) 演技者は、演技(計時)終了後指定した退場口より退場すること。
- エ) 入退場は曲(音楽)無しで行うこと。

## (6) バトン及びコスチュームに関する規定

＜個人種目・ペア種目・チーム共通＞

①バトンについては次の通りとする。

- ア) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- イ) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。但し、グリップテープはシャフトの長さの1/2までとし、センターから同等に巻くこと。
- ウ) グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい。
- エ) テープやテープの類似品以外の付属品などを使用することはできない。  
(視覚的補助及びハンドリング補助のためは不可)
- オ) ペア・チームはグリップテープの色や巻き方を同一とすること。

②コスチュームについては次の通りとする。

- \* スポーツであることを前提にコスチュームに関する規定は設けない。  
但し、手のひらと顔を覆うようなものは不可とする。

③その他

- a) 演技スペースへタオル、パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- b) 怪我のための包帯等は可。
- c) 必要ならばメガネは可。サングラス、光ものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止とする。
- d) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- e) スポーツ競技を加味し、適度なメイクアップは良いが、装飾(顔に模様を描く等)は禁止とする。
- f) 大会期間中のアクシデント(体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる)について  
再演技の判断は、団体責任者・本人・審査委員長・実行委員長(大会役員)が協議し決定をする  
再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、  
演技をした所までの採点とする。選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った  
場合は演技を行ったところの採点とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

## (7) 審査内容は次の通りとする。

### ①個人種目

- ア) 技術 テクニック／スピード／3モード(エアリアル・ロール・コンタクトマテリアル)のバラエティー／ボディワークのバラエティー／クリアネス&シユアネス
- イ) 芸術 ジェネラルコンテンツ／ビジュアルミュージカリティー／空間の利用度／チェンジオブペース／スキルの要求度／演技の優秀さ／正確さ／エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

### ①ペア種目

- ア) 内容 バトンとボディのバラエティー／エクステンジ／移動しながらのバトントワーリング／両手使い
- イ) 実施 滑らかさと流れ／音楽との関わりでの速さ／ボディポジションの均一性／トスの高さ回転、リリース&キャッチ／バトンとボディの正確な技術／ペアワーク
- ウ) 全体的効果 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティー／時間と空間の利用／ステージング／一貫性と論理的な展開／エンターテインメントの価値／表情と身仕舞い／プロフェッショナリズム(リカバリー能力、ペアの責任)

### ①チーム種目

- ア) 内容 バトンとボディのバラエティー／エクステンジ／移動しながらのバトントワーリング／両手使い
- イ) 実施 滑らかさと流れ／音楽との関わりでの速さ／ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ／バトンとボディの正確な技術／チームワーク
- ウ) 全体的効果 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティー／時間と空間の利用／ステージング／一貫性と論理的な展開／エンターテインメントの価値／表情と身仕舞い／プロフェッショナリズム(リカバリー能力、チームの責任)
- エ) 初級・中級に関しては、技能ライセンス6級から1級までとする。

※演技中に演技者は声を掛け合わないこと。

## (8) 審査及び判定(成績)に関する規定

### ①審査員・審判員は次の通りとする。

- ア) 審査員数は3名とする。
- イ) 審判員・・・計時・罰則1名

### ②個人種目

- ア) 審査員が10点法(小数点第1位まで)により採点し、全審査員の平均点とする。

### ③ペア種目・チーム種目

- ア) 審査員が100点法(小数点第1位まで)により採点し、全審査員の平均点とする。

## (9) 評価に関する規定

個人

- \* 8.0点以上 ⇒金賞
- \* 7.0点以上8.0点未満 ⇒銀賞
- \* 7.0点未満 ⇒銅賞

ペア・フリースタイルチーム・初級、中級フリースタイルチーム

- \* 80点以上 ⇒金賞
- \* 70点以上80点未満 ⇒銀賞
- \* 70点未満 ⇒銅賞

## (10) 表彰に関する規定

- \* 全てに各賞の賞状を授与する。
- \* 金賞受賞チームに副賞を授与する。
- \* バトンが一度も落下しなかったチームにノードロップ賞を授与する。

## (11) 演技順に関する規定

演技順については、理事会にて抽選の上決定する。

## (12) その他

- ①大会当日、バトンのボール・ティップのチェックを行う。ボール・ティップは新品を使用すること。  
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度の錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。